

2020年度第1四半期決算

株式会社フジクラ

2020年8月3日



目次

1. 2020年度第1四半期決算概要
2. セグメント情報

1. 2020年度第1四半期決算概要

2020年度第1四半期決算概要

(単位:億円)

	2019年度			2020年度	
	1Q	上期	年度	1Q	上期予想
売上高	1,624	3,435	6,723	1,299	2,900
営業利益	3	58	33	6	10
営業利益率 (%)	0.2	1.7	0.5	0.5	0.3
持分法投資損益	6	8	11	3	▲0
経常利益	10	50	13	▲8	▲20
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲21	8	▲385	▲47	▲65
1株当たり当期純利益 又は純損失(▲)(円)	▲7.35	2.85	▲136.58	▲17.22	▲23.61
1株当たり配当 (円)	—	5.00	5.00	—	—
自己資本利益率(ROE) (%)	▲4.0	0.8	▲20.9	▲13.2	—
為替換算レート (USD/JPY)	109.91	108.61	108.72	107.64	—
銅ベース (千円/トン)	717	692	682	616	—

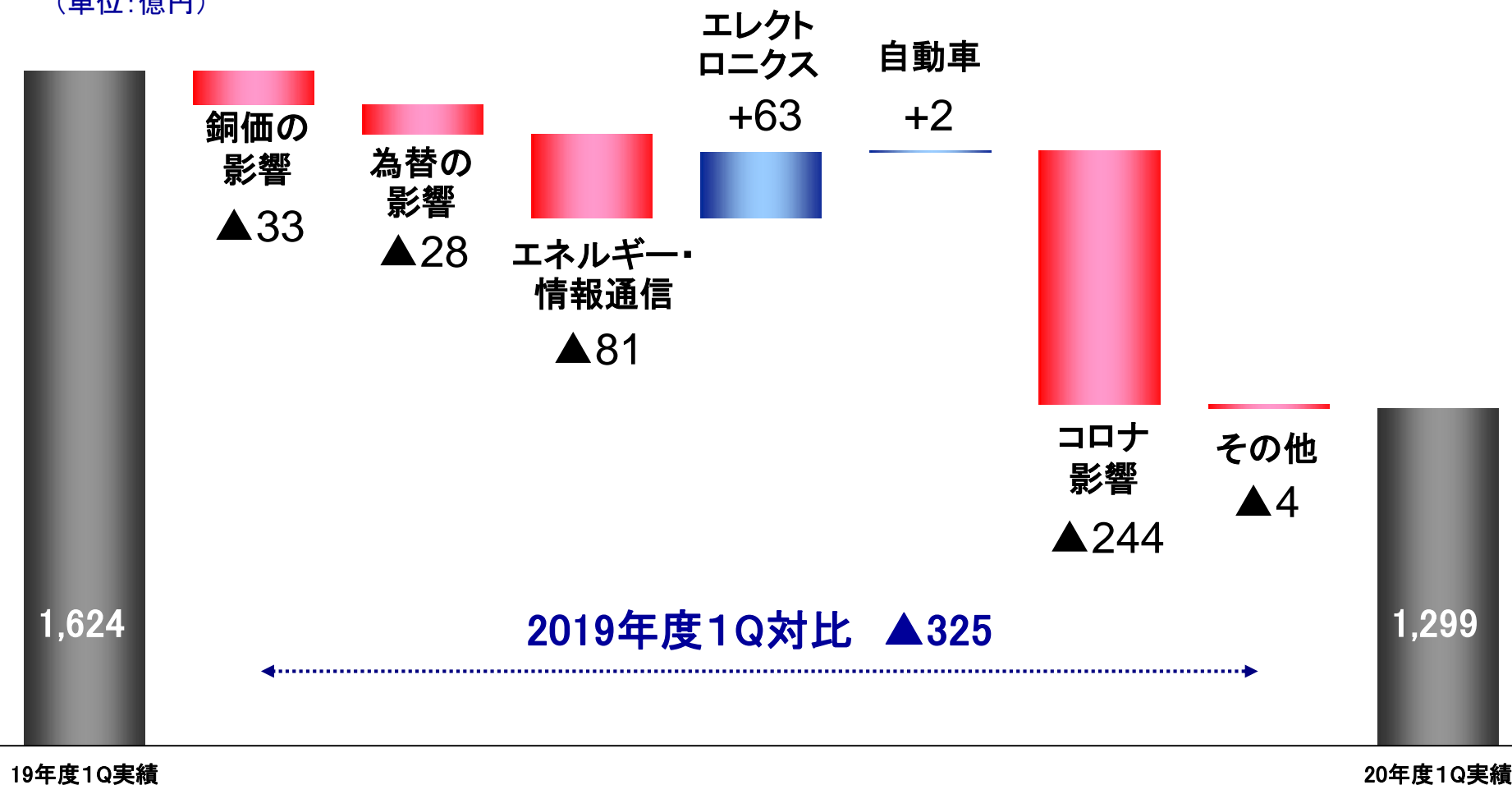
2020年度第1四半期決算概要

- エネルギー・情報通信カンパニーは、中国での送電線事業の合併解消や国内建販市場の需要減少、光ファイバの競争激化などにより減収となったが、銅ヘッジ評価差額の戻入などにより増益となった。
- エレクトロニクス事業部門は、スマートフォン向けFPCは品種構成等もあり厳しい状況であるが、電子部品やコネクタで巣ごもり需要を取り込み赤字は縮小した。
- 自動車事業部門は、新型コロナウイルス感染症の影響で自動車メーカーの生産が停止したことにより、大幅な減収減益となった。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、モロッコ・タンジール火災による資産滅失損等を保険収益に先行して計上した影響などにより純損失となった。
- 20年上期予想は新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、19年上期と比較して減収減益となる見込み。

2020年度第1四半期 売上高の増減要因(前年同期比)

売上高

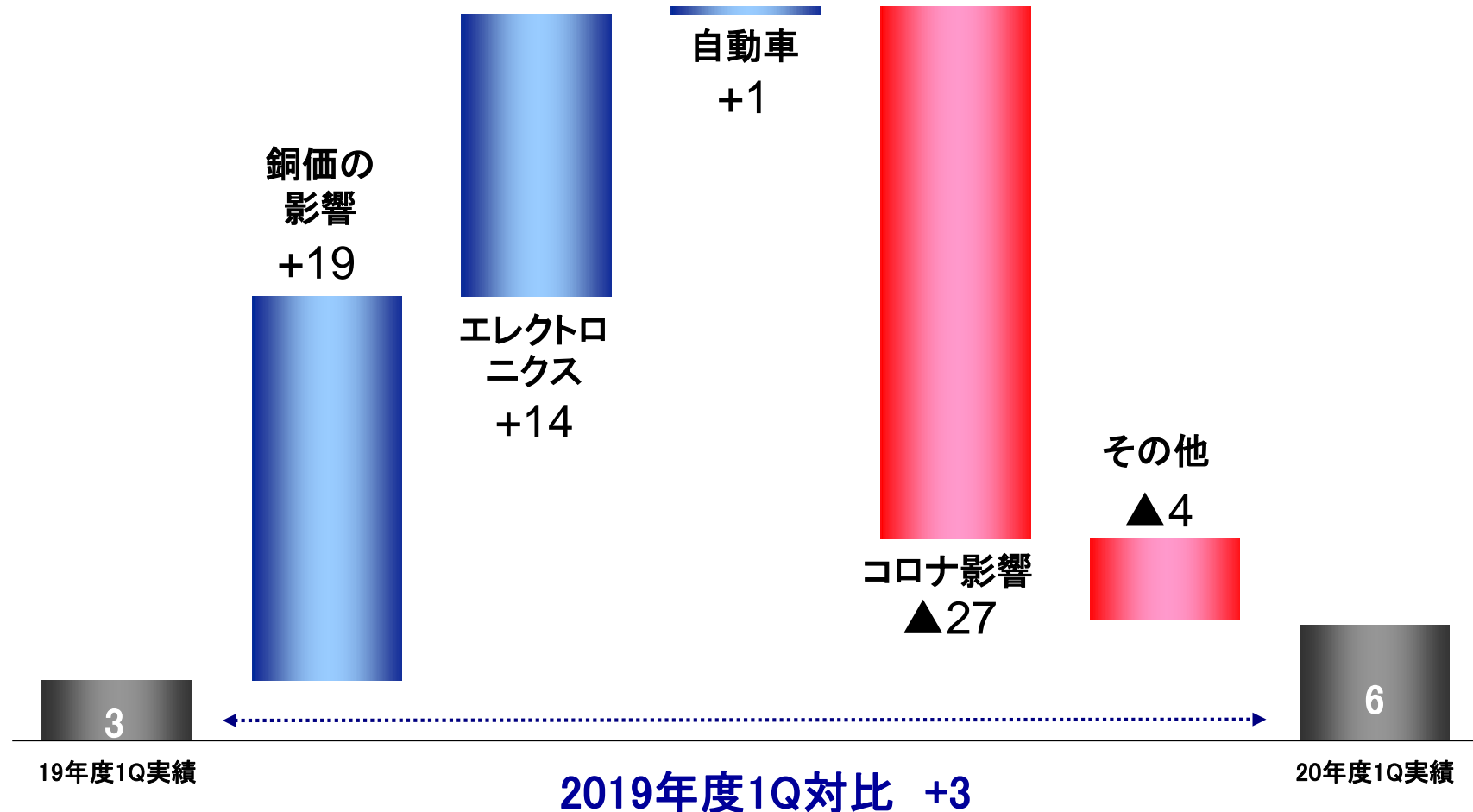
(単位:億円)



2020年度第1四半期 営業利益の増減要因(前年同期比)

営業利益

(単位:億円)



2020年度第1四半期 特別損益及び税金項目

特別損益

(単位:億円)

	2019年度1Q	2020年度1Q
営業利益	3	6
持分法投資損益	6	3
経常利益	10	▲8
特別利益	2	1
特別損失	15	31
税引前当期純利益 又は純損失(▲)	▲3	▲38
税金費用	14	7
非支配株主に帰属する 当期純利益	4	2
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲21	▲47

・新型コロナウイルス関連損失 20億円
・モロッコ火災関連損失 7億円等
(保険請求予定)

B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	20年3月末	20年6月末	増減
〈資産〉	5,761	5,792	+31
流動資産	2,998	3,038	+40
現金及び預金	447	586	+139
受取手形及び売掛金	1,289	1,217	▲73
たな卸資産	1,037	1,054	+17
固定資産	2,763	2,754	▲9
有形固定資産	2,106	2,101	▲5
無形固定資産	157	148	▲9
小計	2,263	2,249	▲14
投資その他の資産	500	505	+5

新型コロナウイルス感染症対応による手元流動性の確保

新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少によるもの

B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	20年3月末	20年6月末	増減
負債純資産合計	5,761	5,792	+31
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(+0)
〈負債〉	4,040	4,065	+25
支払手形及び買掛金	658	567	▲91
有利子負債(借入金・社債)	2,607	2,803	+196
その他負債	775	695	▲80
〈純資産〉	1,721	1,727	+6
株主資本	1,599	1,582	▲17
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(+0)
その他の包括利益累計額	▲79	▲52	+26
非支配株主持分	200	197	▲3

新型コロナウイルス感染症の影響で仕入減少

新型コロナウイルス感染症対応による手元流動性の確保のため

2. セグメント情報

セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高

セグメント	19年度 1Q実績	19年度 上期実績	20年度 1Q実績	20年度 上期予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	841	1,674	705	1,479
エレクトロニクス 事業部門	335	902	393	865
自動車 事業部門	406	773	163	477
電子電装・コネクタ カンパニー	740	1,675	556	1,343
不動産 カンパニー	28	57	27	54
その他	14	29	12	25
合計	1,624	3,435	1,299	2,900

営業利益及び営業利益率

19年度 1Q実績	19年度 上期実績	20年度 1Q実績	20年度 上期予想
19 2.3%	44 2.7%	35 5.0%	46 3.1%
▲28 ▲8.3%	▲0 ▲0.0%	▲13 ▲3.3%	▲20 ▲2.3%
▲3 ▲0.7%	▲12 ▲1.6%	▲28 ▲17.2%	▲39 ▲8.1%
▲31 ▲4.1%	▲13 ▲0.8%	▲41 ▲7.4%	▲59 ▲4.4%
15 52.3%	28 48.9%	13 49.8%	25 46.9%
▲0	▲2	▲1	▲3
3 0.2%	58 1.7%	6 0.5%	10 0.3%

※一部事業の管理体制の見直しに伴い、19年度の数字を組替再表示しております。

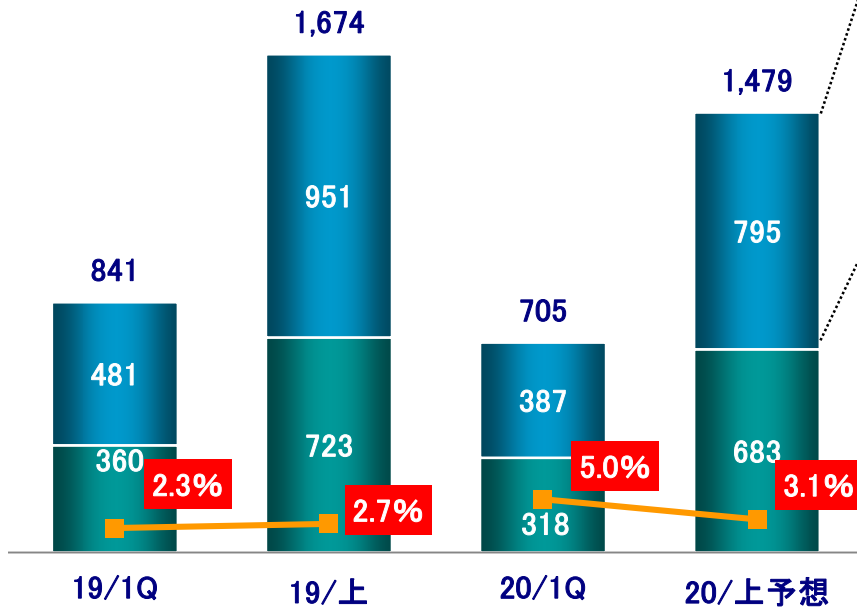
エネルギー・情報通信カンパニー

- 前年同期比で1Q実績は、中国での送電線事業の合弁解消や国内建販市場の需要減少、光ファイバの競争激化などにより減収となったが、銅ヘッジ評価差額の戻入などにより増益。
- 海外を中心に競争激化の影響を受けているが、コストダウンや差別化製品の開発・拡販に取り組んでいく。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



エネルギー

- 1Q実績は、中国での送電線事業の合弁解消や国内建販市場の需要減少により減収。
- 1Q実績の売上高は、上期予想の49%。

情報通信

- 1Q実績は、中国での光ファイバの競争激化などにより減収。
- 1Q実績の売上高は、上期予想の47%。

コメント 上段: 1Q実績、前年同期比
下段: 上期予想値の進捗

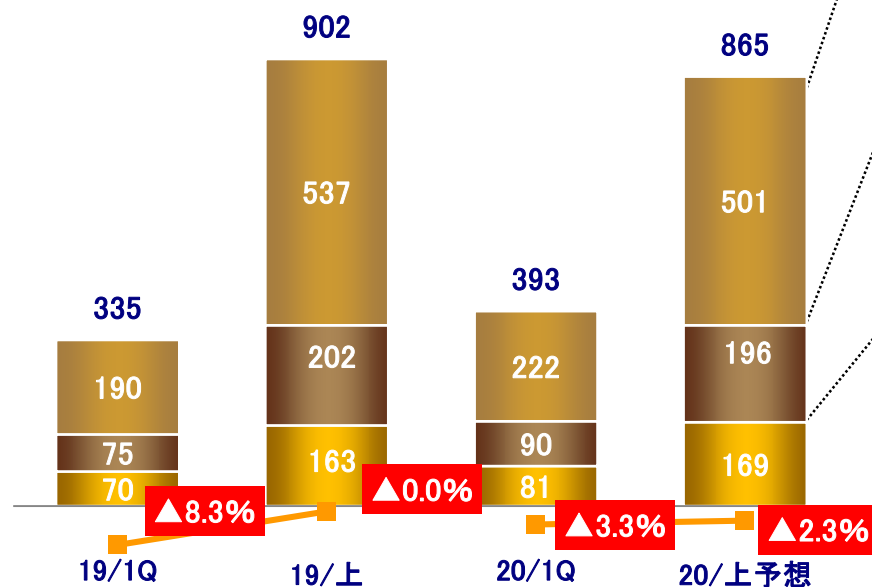
エレクトロニクス事業部門

- 前年同期比で1Q実績の売上高は、スマートフォン向けFPCは品種構成等もあり厳しい状況であるが、電子部品やコネクタで巣ごもり需要を取り込み増収となり赤字は縮小した。
- 2Qの増産に向け、品質に留意しながら立ち上げに取り組んでいく。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



FPC

- 1Q実績は、スマートフォン向けを中心に増収。
- 1Q実績の売上高は、季節要因により上期予想の44%。2Qに立ち上がる見込み。

コネクタ

- 1Q実績はスマートフォン向けを中心に増収。
- 1Q実績の売上高は、季節要因により上期予想の46%。

その他

- 1Q実績は、PCタブレット等の巣ごもり需要を取り込み増収。
- 1Q実績の売上高は、上期予想の48%。

コメント 上段: 1Q実績、前年同期比
下段: 上期予想値の進捗

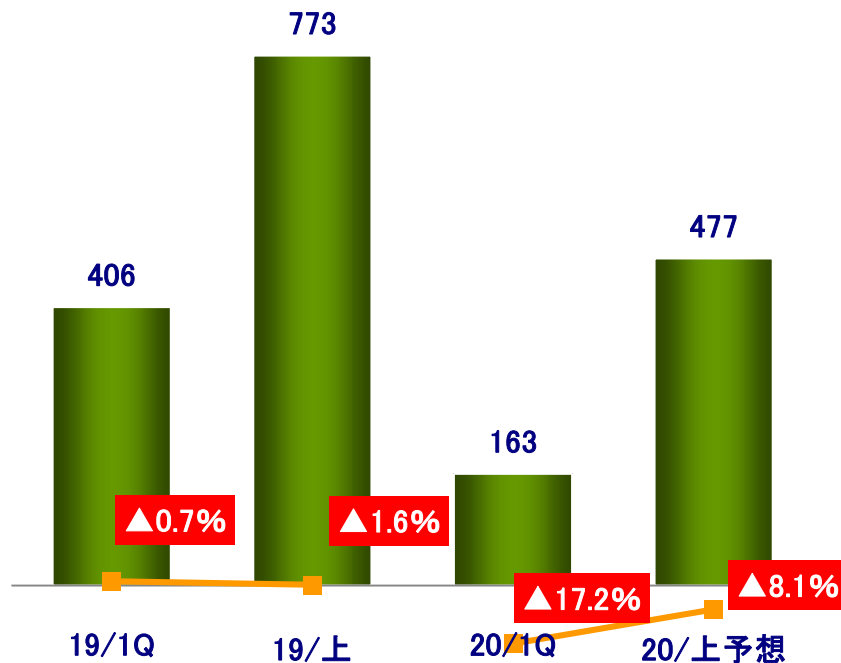
自動車事業部門

- 新型コロナウイルス感染症により世界各国でロックダウンによる顧客生産停止により、前年同期比で1Q実績は大幅な減収減益。
- 2Qは顧客増産対応を実施する。

(単位:億円)

売上高と営業利益率

営業利益率



自動車関連

- 1Q実績の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月が低稼働だった影響で大幅に減収。
- 1Q実績は売上高は上期予想の34%。2Qは顧客の生産体制に合わせて売上の回復を見込む。

コメント 上段: 1Q実績、前年同期比
下段: 上期予想値の進捗

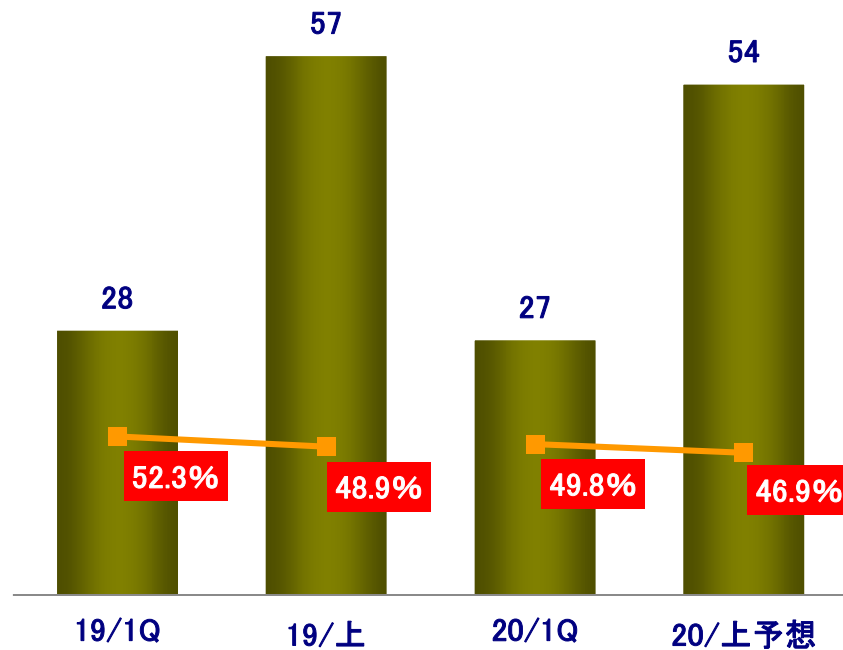
不動産カンパニー

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位: 億円)

売上高と営業利益率

— 営業利益率



不動産

■ 引き続き安定的な賃料収入を見込む。



注記: 本資料は20年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。20年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2020年度 第1四半期 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位: 億円

	2019年度							2020年度 1Q実績	2020年度予想 (FY2020 Est) 上期予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度		
エネルギー事業部門	481	470	482	445	951	927	1,879	387	795
情報通信事業部門	360	363	337	339	723	676	1,400	318	683
エネルギー・情報通信カンパニー	841	834	819	784	1,674	1,604	3,278	705	1,479
FPC	190	347	301	205	537	506	1,043	222	501
コネクタ	75	128	118	92	202	210	412	90	196
その他	70	93	91	75	163	166	329	81	169
エレクトロニクス事業部門	335	567	509	373	902	882	1,783	393	865
自動車事業部門	406	367	375	345	773	720	1,493	163	477
電子電装・コネクタカンパニー	740	935	884	717	1,675	1,601	3,276	556	1,343
不動産カンパニー	28	28	28	28	57	56	113	27	54
その他	14	15	15	12	29	27	56	12	25
合計	1,624	1,811	1,746	1,542	3,435	3,288	6,723	1,299	2,900

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信カンパニー	19	25	22	△ 21	44	1	46	35	46
エレクトロニクス事業部門	△ 28	28	9	△ 28	△ 0	△ 19	△ 20	△ 13	△ 20
自動車事業部門	△ 3	△ 10	△ 15	△ 14	△ 12	△ 29	△ 41	△ 28	△ 39
電子電装・コネクタカンパニー	△ 31	18	△ 7	△ 42	△ 13	△ 48	△ 61	△ 41	△ 59
不動産カンパニー	15	13	13	13	28	26	54	13	25
その他	△ 0	△ 1	△ 0	△ 3	△ 2	△ 3	△ 5	△ 1	△ 3
合計	3	55	29	△ 53	58	△ 24	33	6	10

※2020年度より自動車事業部門からエレクトロニクス事業部門へ一部事業の移管を行ったため、2019年度の実績値を組替再表示しております。

株式会社フジクラ